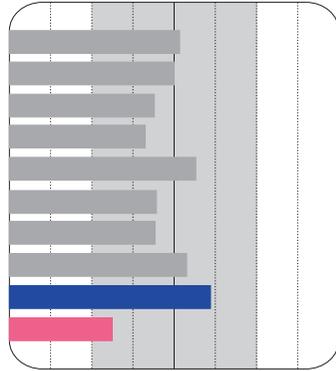


出力日 2010/03/04
 氏名 藤村 舞子
 所属部署 看護部
 配置先 2階病棟
 職種 看護師

性格の特徴

確信が持てるまで行動に移さない慎重さがある。軽はずみな行動は少なく、落ち着きと信頼感がある。生活ぶりもきちんとしているが、ひとつのことに執着することはなく、状況に応じて柔軟に対応できる。常識をわきまえたよき社会人として模範的な見方をされるが、慎重であるがゆえ、問題が起こると自罰的傾向が強まる。失敗回避のために控えめな行動をとることも多く、もう少し凶太さや積極性があるとリーダーとして活躍できそうだ。

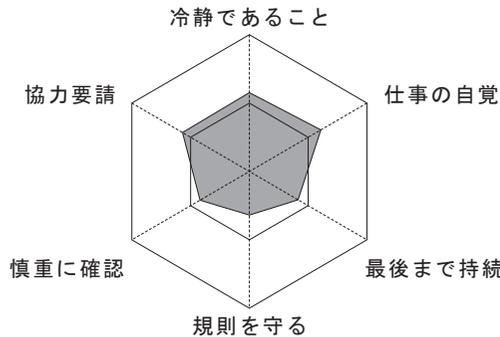
内閉傾向
 客観的
 活発性
 気分性
 持続傾向
 几帳面
 負けず嫌い
 自尊心
 慎重傾向
 不安傾向



テクニカルスキル発揮の土台となる要素

比較的落ち着いて処置にあたるなど、現場で技術を生かしているようである。本人なりに手際の良いやり方を習得しているが、どんな場面でも確実に力を発揮するためには自分の弱点を把握することが肝要である。本人の努力だけでなく環境面の改善なども進めたい。

決められた手順でなく新しい方法を好む。自分らしいアイデアやユニークな発想に富み、ルールに縛られない。独創性という聞こえはいいが、職務からの逸脱には注意したい。



現在のヤル気の度合い



51

職務を続ける上で困ることはそう多くはなく、やる気が失せるほどの強いストレスにはなっていないようである。とはいっても、何か重荷があるとそれをカバーしようとする無理をしやすい。その積み重ねで気持ちがしぼむことも考えられ、早いうちに手を打ちたい。

この人の中でもっとも気になるところは仕事に対するやりがいである。仕事にやりがいを感じられず、熱中できない様子がうかがえる。何をしても達成感はなく、つまらないと思っているのかもしれない。

多少のことで動揺するほどの気の弱さは見られないが、何が起きても大丈夫というほどでもない。特に一人でトラブル対応をするような場面には不安を感じる。慣れないことをさせる際は先輩と組む、マニュアルを整える、知識や技術力を養うなどの工夫が必要である。

精神面の強さ



46

社会性から見た特徴

社会的満足が低い…
 悩みを抱え、自分らしい生き方の方向性を模索中と思われる。離職決意もあるようだ。悩みや問題の把握が先決で、本人の抱えるトラブルの解決に上司や周囲も協力してほしい。

自主性が低い…
 先輩や専門家の意見を優先し、なるべく目立たないようにするなど消極的に見える。どうしても指示を待つことが多いが、状況や役割の理解を促し、自分で考えるよう指導したい。

意欲・欲求から見た特徴

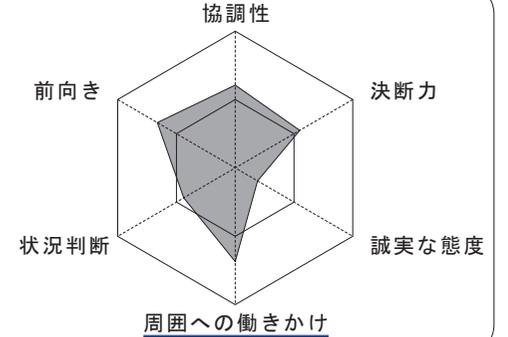
活動意欲が低い…
 仕事を生きがいとして考えず、生活手段のひとつととらえる。とりあえずの勤務と考えている可能性もあるが、目標の持たせ方や人間関係などを工夫し、やる気を持たせたい。

危機対応が低い…
 苦しくてもやり抜こうと努力し、がんばりすぎる傾向も見られる。頼りになる存在と思われるが、何事も一人に背負わせるのではなく、設定目標や状況に応じて役割分担を考えたい。

ヒューマンスキル発揮の土台となる要素

患者（利用者・その家族）との対応を敬遠することなく、ていねいにおこなっている。とはいってもこの不得意な相手や場面もあるようで、苦手意識も感じられる。どのようなときに苦手と感じるのか、本人が弱点を自覚するとともに環境改善の向上についても考えたい。

通常業務であれば自分で判断できるが、いつもと違う場合に合うと動揺する一面もある。判断がつかないならば相談する、応援を頼む、保留するなど臨機応変な対応が求められる。



継続意識（働きながら感じていること）

ストレスや不満はあるものの、組織に対してある程度の理解を示している。今の状態に一定の納得感をもって勤務しているが、現状が続くことで負荷が大きくなることもありうる。点数の低い部分が要因と考えられるので現状とよく照らし合わせて問題解決を図りたい。

この中でもっとも得点の低いのはやりがいで、楽しくない、1日が長いと感じている。これは仕事の向き不向きや好き嫌いだけでなく、人間関係や勤務体制などにも関連がある。

